


乳房の手術を受けられる患者様へ

患者氏名() 様

月/日	/	/	/	/	/ ~ /	/
乳房切除術	入院当日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目～6日目	退院
達成目標	手術に対する受容ができ、手術に臨むことができる。	痛みがコントロールされ、重篤な合併症が起きない。	痛みがコントロールされ、歩くことができる。	リハビリを行うことができる。		体力が回復し、退院後の生活に対する不安が解決する。
検査	名前を書いたバンドを手首に着けます。	〈手術前〉 ・手術前は食べたり飲んだりできません。 ・排便がなければ、希望で浣腸をします。 ・入れ歯、メガネ、コンタクト、指輪、湿布は外してください。 ・()時に点滴をします。 ・ご家族の方は()時まで病室にいらしてください。				
点滴注射	点滴はありません。			点滴があります。	点滴はありません。	
内服	普段飲んでいる薬を確認します。担当看護師に預けてください。 お薬手帳があれば一緒にお渡しください。			〈入院前から服用している薬について〉 手術前から中止している薬は医師の許可が出るまでは中止です。		
安静	特に制限はありません。通常通りにお過ごしください。	〈手術入室〉 ・()で手術室に移動します。 ※ご家族の皆様へ ・手術中は家族控室でお待ちください。 ・手術が終了したら、ご家族に医師から手術内容の説明があります。その後は5階の		歩行ができます。初めは看護師と一緒に歩行します。		
リハビリ	パンフレットをお渡しします。			(点滴中は点滴台を押しながら歩きます) 手術した腕は、リハビリの範囲内で動かしてください。		創部の管が抜け、医師から許可があればリハビリを開始します。担当から説明があります。
食事	夕食まで食べられます。 夜9時以降食事はできません。 水分については担当看護師から説明があります。			朝より水分可となります。昼から常食が出ます。		看護師が退院後の生活の注意事項、外来診察日について説明します。
清潔	入浴できます。	〈手術後〉 ・手術後はベッド上安静のため起き上がれません。寝返りを打つことは出来ません。 ・尿の管と胸に管が入ってきます。 ・点滴は指示があるまで続けます。 ・手術後は頻回に全身状態を観察します。 ・痛みがあったり、気分の悪いときは遠慮せず、ナースコールでお知らせください。		午前中に温かいタオルで体を拭き、着替えをします。	創部の管が抜けるまでは、下半身のみシャワーできます。	創部の管が抜ければ創部を保護し、全身のシャワー浴ができます。
排泄	希望にて下剤を就寝前に飲みます。			歩行できれば尿の管が抜けます。トイレを使用できます。手術後の注意点について説明します		
説明	看護師から入院、病棟の説明があります。主治医より手術の説明がありますのでご家族は同席をお願いします。 麻酔科の医師と手術室の看護師から説明があります。			体を動かすことは、血栓・肺炎予防と早期回復の効果があります。しかし、めまいやふらつくようでしたら無理をせず、最初はベッド上で手足を動かす、上半身を起こすなど徐々に体を動かすことをお勧めします。 手術創の痛みは徐々に軽減しますが、我慢せずにご相談ください。		

※スケジュール通りいかないことがあります。何かありましたら看護師に遠慮なく声をかけてください。

伊那中央病院 乳腺内分泌外科 2018.8 改訂